

会員の方からのコメント	理事会としての回答	
ご準備ありがとうございます。	感想	不要
<p>総会準備大変お疲れ様です。2019年度報告は自らも関わってきたので承認せざるを得ないと思っ ているのですが、予算・計画については、組織を存続させるための予算・計画に見えてしまい、賛成 しかねます。</p> <p>●計画については、理事の中で、「社会をどのように変えたいのか、なぜそこにASJが必要なのか」 といったことについて答えが出ないのであれば、他の皆で相談したところで良い答えが出るのか、 疑問ですが、いかがでしょうか。(話し合ったメンバーが新生ASJの代表になるとかならまだ、わかり ますが...)私は、ASJのOB/OGが集える場が絶対必要だとは思っています。でもそれはASJとは別 の組織としてあれば良いのかなと思います。</p>	質問	<p>NPOであり会員組織である中で、今後のASJの組織としてのあり方については、OBOGの方やこれまで関わりのある他団 体の方たちと話したり、意見を交わすことの必要性を感じています。ぜひ西島さんにもその一人になっていただきたく期待 しています。ASJ内においてプレーヤーとなっていないため分かりにくいかと思いますが理事はそれぞれの社会変革への 想いがあり、勤務先のフィールドなどで活動を続けています。今まで多くの市民活動の先輩方にお世話になってきたASJだ からこそ、拙速に私たちだけで決めるのではなく議論の時間やトライする期間をつくりたいと考えました。</p>
<p>●予算については、上記のような「活動計画」にも拘らず、家賃72万円、会計21万、会費9万円など をあげていますが、金額が大きすぎると思います。会費がほとんど事務所・組織の維持に使われて いるということですよ... ※会費については入会の理由(メリット)を教えてください。活動計画がない のに2021年度の予定を算出していることも良く分かりませんでした。</p>	質問	<p>1年をかけて話し合っ ていこうと思っ ています。その ためにも、事 務所機能は一 定程度必要だ と感じていま す。ご指摘の 通り経費がか かっているこ とはありますが 、削減も含め て検討してい けたらと思っ ています。ま た、ASJ会員 は、ミッシ ョンに共感を してくれた方 になっていただ いているとい う認識です。2 020年度、み んなで話し合 っ ていこうと思 っているの で、ご賛同い ただける方に 会員をご継続 いただけたら と思っ ている次第で す。</p>
<p>●まだ体力のあるうちに、解散を具体的に検討してほしく、 解散の議論・実務であれば私も力になりたいと思っ ています。</p> <p>...とネガティブな事ばかり書いてしまいましたが、はまこー・みつもと・えぐつちゃんの3人は、ASJ10 年以上関わり続けていて、ASJへの想いや責任感もとても強くあると思うのです。私の産・育休中、 大変な時期を回してくれて本当にありがたいです。そして、3人が組織をあげて私の事務局長や活 動を応援してくれたから今の私がある。ASJにも3人にも、言葉にできないほど感謝しています。そ の3人が決めた答えが、3人の本当に本当にやりたいことなのであれば、それでよいのだと思いま す！ それでは総会当日は宜しくお願いします！<(_ _)></p>	意見	<p>2020年度を通して、今度のASJをどうしていくか(解散という選択肢も含めて)話し合っ ていきたいと思います。</p>
総会資料を読ませていただいて、アシードの今の温度を知りたいなと思っ て。少しでもみなさんのお 顔を見ればうれしいです。		不要
<ul style="list-style-type: none"> ・組織規模が小さくなったからこそできることにチャレンジできたらいいと思っ ています。 ・ESG金融の時代、エッジのきいた提言活動を期待しています。 ・気候変動については類似団体とのコラボを積極的にやるのがいいと思っ ています。 		不要(コメント・感想を3点)
何事も継続が重要だと思っ ます。ぜひ活動を頑張っ てください。		不要
<p>当日参加予定ですが、事前にお聞きしたいことを書かせていただきます。</p> <p>【事務局報告について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OB・OGとの連携」「会員サービス」について具体的なイメージはありますか?2018年度と2019年 度の総会資料にも似たようなことが書いてありましたが、実際に何か取り組まれたこと、これから取 り組もうとされていたことはありますか? ・個人的には、会員用SNSなどあったらいいなと思っ ています。一案になれば幸いです。 	質問	<p>「OB・OGとの連携」としては、2019年度は、岸本聡子さんをお呼びしてトレーニングを実施しました。「会員サービス」 については、新規の取り組みは行っていません。 今後アクセラボとして、以下のような流れを検討しています。 会員用SNSとしては、 ①Slack(全会員が利用できるようにする)②Facebookグループの充実(会員メンバー間の情報共有)など、ASJとして SNSの利用の位置付けや整理をする必要性を感じています。</p>
<p>【小川事務局長代理のコメントについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中途半端に財産を残しても仕方ないという点には同意 ・ただし、「人を募集し、次代のミッションを作る」のは順序が逆では? ・お金の使い方としては、事務局スタッフを雇うことだけが解ではないと思っ ます。 	意見	当日コメントさせていただきます。

<p>【2019SEED PLAN評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エコ貯 ・SNSの活用について、できなかったのは何か障害があったのか、単に優先度が低いと判断したのでしょうか？ 	質問	人的な余裕がなかったことが要因だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー政策 ・チームとしての一貫性を保てないほどに体制見直しが必要となったのは何故でしょうか？ ・webサイトの維持管理が困難になった理由について。属人的スキルに依存していたということでしょうか？ 	質問	<ul style="list-style-type: none"> ・チームに関わるコアメンバーが渡米や遠隔地在住だったことでチームの核を作ることができず、チームとして一貫性のある体制が維持できませんでした。 ・WEBサイトに関しては、上記の理由もあり、人的な余裕がありませんでした。
<p>毎年のとりまとめ、おつかれさまです。</p> <p>会員となり10年目を迎えました。直近5年は活動メンバーではなくなったため、事業報告・計画はASJを知る貴重な資料です。</p> <p>残念ながら総会当日は参加できないのですが、以下質問・意見をださせていただきます。</p> <p>今年度の総会が、この1年に区切りをつけ、次の具体的な動きにつながっていく場となることをお祈り申し上げます。</p> <p>《質問》</p> <p>【1】2019年度総会で出た意見についてののくらしい進んだかの質問です。</p> <p>①2019年度会員総会の意見「少ない人数でインパクトを出すこと」について2019年中の進展は？(いつどの場で話し合ったか、その所感を教えてください)</p>	質問	<p>「少ない人数でインパクトを出すこと」についての具体的な施策について検討することはできませんでした。理事会の中で、ASJとして学生たちが中心として活動しているFriday for Futureに関わっていくか、またパワーシフトキャンペーンとの連携など、対外的な活動との関係の中でASJとしてどうしていくか、今後のあり方について検討の場を持ちました。結果として、例えば Friday for Futureなどの組織と具体的に協働していく戦略の確立の結論には至りませんでした。</p>
<p>②2019年度会員総会の意見「2021年に向けた話し合い」について2019年中の進展は？(いつどの場で話し合ったか、その所感を教えてください)</p>	質問	<p>理事会を中心に、今後のASJをどうしていくかの議論は進めてきました。そうした中で、いくつかの選択肢を検討し、2020年度の1年間は立ち止まって、2021年度以降をどうしていくか(解散や新形態を含む)を話し合うことを通して決めるということになりました。</p>
<p>【2】2020年度活動計画案についての質問です</p> <p>①活動のあり方・組織のあり方を変えていく必要があると考えている理由を教えてください(本格的な議論は2020年度スタートであることは理解しています。現在の理事・活動メンバーが上記を問題意識とした「何か」は何なのか？を知りたいです)</p>	質問	<p>(内部要因)ASJにプロジェクトを持ち込んで何かしたいという人がいなかった。関わる人を育成していくということができなかった。また、社会人が主になっている状況。(外部要因)社会全般の関心事項から環境が薄れていることは感じている。概して環境NGOは人材不足に苦しんでいる中で、ASJも大学などの研究室での学生への呼びかけなどをしていましたが人材の定着は苦戦しています。鋭い問題意識を持つ青年層へのリーチやプロジェクト形成について、手法を変える必要性を感じています。</p>
<p>②SEEDラボのメイン担当あるいはリーダーは誰ですか？(予定でもかまいません)</p>		SEEDラボ、アクセララボのリーダーは、代表理事の浜田が担当します。
<p>③アクセララボのメイン担当あるいはリーダーは誰ですか？(予定でもかまいません)</p> <p>理事を継続する方(浜田さん、江口さん、三本さん)の所信表明と理事を退任する方(田川さん、西島さん)の挨拶をぜひ聞きたい(読みたい)です</p>	意見	<p>【退任挨拶:田川】</p> <p>私はA SEED JAPANエコ貯金プロジェクトの活動に2012年秋頃から参画、2016年11月から理事を務め、2020年3月をもって退任いたしました。</p> <p>退任の理由としては、仕事との両立が困難であることが一番の要因です。理事として他団体の方とお話したりセミナーへ登壇したりした体験は、本当に貴重な私の財産になりました。一方で、すべては私の力不足ですが、仕事の傍らのボランティアで、本業をNPOとする方々と対等に議論したり、助成金を獲得し計画を実行していったりすることを続けていくのには、体力的な限界を感じました。昨年度末をもって退任いたしました。ここで得た経験を今後の生活の中で活かしていきたいと思えます。ともに活動をした仲間と関係者の皆様に、心より感謝いたします。ありがとうございました。</p>
<p>議題の中で、一部活動縮小や赤字決算等に関わるネガティブに見えてしまう部分があり、それだけを見て批判的に判断する会員の方がいないかが心配です。最近では着かず離れず活動に触れさせていただいているので、現理事や事務局の方の活動・努力・熱い想いはなんとか近くで見ているつもりです。言い訳にしかありませんが本業や家庭を理由にあまり深く関われない自分にとっては、そんな皆様に本当に感謝しかありません。もちろんそんな方はいないと思いますし、また会費が発生している以上ある程度はしかたないのかもしれないかもしれませんが、それでも総会にのみ参加して「物申す」だけのような方がいないことを、また万が一そのような方がいたらとにかくもう一度活動に深く関わって参加してくれる事を切に願っています。</p>	感想	不要

この前、COP10メンバーでzoomしました久々に話せて楽しかったです(笑)	感想	不要
エコ貯金プロジェクトの終了は悲しいお知らせでした。	感想	不要
理事のみなさま、事務局のみなさまお疲れ様です。 残念ながら今年の総会も参加できそうにありませんが、今後のASJの方向性を決める大事な総会になりそうですね。 資料を拝見してそう思いました。 よくこれまでのASJはこうだったからそれに乗っ取るべき的な意見も多く寄せられたりしそうですが、たぶん今関わっているみなさんが一番今のASJのことをよく考えていらっしゃると思いますので、総会に参加いただいたメンバーでおおいに議論してもらって、前に進んでいってもらったと思います。	感想	不要
A SEED JAPANは社会変革をミッションとしたNGOであるはずですが、2020年度の活動計画では何をどう変革するのか全く見えません。このような中で、2020年度への繰越金を生じさせる2019年度活動報告及び決算報告は承認できません。したがって2019年度をもって解散するべきだと思います。なお、社会変革を求めない活動は応援できないので、今総会を持って会員を辞めさせていただきます。	意見	今までの数々のプロジェクトをリードし、人材育成を含めて大きく貢献いただきました。いまの理事も大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。Fair Finance Guideキャンペーンにも、ASJとして最後までご尽力することができない中で、細やかにあたたかくフォローいただけていました。ASJ一同、重ねて御礼申し上げます。NPO/NGOの組織基盤強化の中のプログラムには、「立ち止まる」プログラムがあります。いまの理事として、無理やりプロジェクトを形成するよりも、いちど立ち止まった方がいいのでは、という選択をいたしました。非会員となられても、今後何かとご相談させていただけたらありがたいと思っております。何卒その際には、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。
次世代育成に関する取り組み、成果が全く感じられませんが、何故なのでしょう？会員・寄付者に対する情報発信も減る一方に感じます。せめて次世代リーダーや理事の育成についてASJらしい取り組みを打ち出していきたいと思えます。	質問	対内的な人の定着や育成には課題を感じています。今の体制では十分にはできませんでした。対外的には、Fridays for Future!に関わる学生たちと大人のNGOの間を取り持ち、学生を守るということにも精力的に関わったことで、気候マーチ等の活動の効果を高めることに貢献できたと考えています。よりより人材育成はどういうものであるか考えていきたいと思えます。
議題とはずれますが、土屋さんご逝去の件についての連絡等、本当にありがとうございました。事務局の方々、OBOGのかたがたのあたたかさ、つながりを感じました。	感想	不要